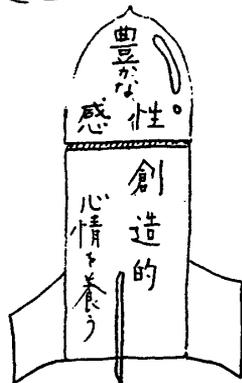


自己実現

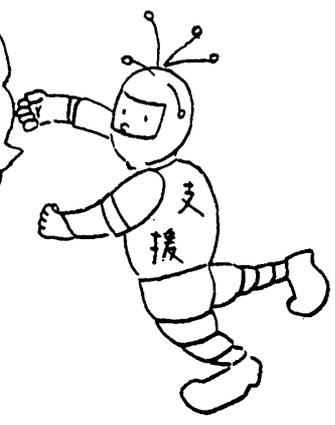


追従性 主体性 個性 柔軟性 想像性 先感性

鑑賞の能力 創造的技術 発想の能力 造形への関心・意欲 態度

観ることも楽しみ味のある子ども
表現方法を自覚的に考えたりける子ども
自分なりの表現ができる子ども
工夫ができる子ども
イメージ豊かな子ども
アイデアの豊かな子ども
表現を導き出す子ども
表現に自信と主体的に活動する子ども

・時間の保障
・子どもの思いを聞く
語りかけること



子どもの思い
ふだんからある子どもの思い
ふだんの思いと授業とをとりまわす。身ぶりの眼と養う。
新たな感動体験
子どもの思いと大切にする。

図画工作科のめざす子どもの姿

7 図画工作科

— 豊かな感性を育む図画工作科の学習 —

加藤 潔己・阿比留 時彦

1 図画工作科における感性豊かな子ども

「豊かな感性」とは、人間及び人間を取り巻くあらゆる事象に対して「気づき、感じ」たものから、「考え、表現し」、「共感し」、「振り返る」活動を促し、その子どもの生き方までを含めた自己実現と人間形成をめざす内面的な活動である。また「自己実現をめざす感情、心情」を「創造的心情」ととらえ、「創造的心情をもった人間の育成」が大切であると考えられる。

そこで、図工科における豊かな感性をもつ子どもとは、創造的心情を豊かにもつ子どもであるとして、次のようにめざす子ども像を考えた。

《めざす子ども像》

自分らしさを発揮し
心豊かに、主体的に 生きていく子ども
創造的に

新しい学力観

自分なりの豊かな考えや生き方を持ち、進んで考えたり判断したりして表現したり、行動したりすることができる資質や能力

(新しい学力観に立つ学力)

学力の柱、基礎・基本

- ・自ら学び、よりよく生きることに對する ----- 関心・意欲 -----
- ・よりよく生きるために、進んで新しい自分の課題など
を見つけ、解決したり、実現したりするためにはたらく ----- 思考力・判断力 -----
- ・さらに、それらを具体的に解決、実現するための ----- 技能・表現 -----
- ・自己実現をめざす主体的活動を支えるものとして ----- 知識・理解 -----

創造的心情をもった子ども

- ・自分の思いを豊かにもつ
- ・表現を楽しむ
- ・表現に自信をもっている
- ・驚きの心をもち続け、表現にこだわりをもっている
- ・イメージ豊かであり、考え方が開放的で、柔軟性がある
- ・自分なりの表現を工夫する
- ・表現方法を自主的に考え出す
- ・鑑賞を楽しむ

2 豊かな感性を育む図画工作科の支援

創造性の基本には、子ども達一人ひとりの内側に「つくりたい」「かきたい」という内発的動機に支えられた意欲がなければならない。本当にしたいことを没頭してやりとげるときに感性は育まれてゆくものであると考える。一人ひとりの思いや願いから始まる造形活動を通して、人間的

な成長もはかれるのではないだろうか。

特に、本年度の研究を「思いをつくる」という視点から、サブテーマを次のように設定した。

サブテーマ

豊かな思いをつくる図画工作科の授業づくり

以上のことから図画工作科において、豊かな感性を育むポイントとして次の点を構想してみた。

(1) 題材開発……子ども達一人ひとりが自分の思いやよさや可能性を生かす授業のために

- ・子ども達一人ひとりの実態や立場に立ち、どの子も表現などの思いをもって関わるのが期待できる題材を吟味、選択、開発する。
- ・表現や鑑賞の主題や意図を見つけるとともに、豊かな発想をしたり、構想をしたりすることができる題材の選定をする。
- ・子ども達がその題材による学習を自分のものとして受けとめ、ゆとりをもってかかわることができるように、一人ひとりの立場に立って工夫した題材名を提案したり、個に応じて補充提案をしたりする。

(2) 豊かな思いをつくる授業づくり……

- ・子ども達がふだんから興味・関心を持っているものを生かし、題材として感動的に出会う場の設定をすることで、豊かな思いをつくることができると考える。
- ・一人ひとりの思いが尊重されるように、思いのままに動きかけ、試みることでできる雰囲気やゆとりある授業展開を心がける。
- ・教科をこえて子ども達に豊かな感動のある教育活動を設定したり、ゆとりあるくらしづくりを保障したりする。

3 今後の課題

(1) 「気づき、感じる」、「考える、表現する」、「共感する」、「振り返る」という学習のステップの各ステップの中の子どもの「思い」の分析と「思い」を深めたり、ふくらませる言葉かけ、発問の研究。

(2) 他教科、他領域との合科・総合的な題材の指導計画と「年間指導計画」の検討。

(3) 「思い」と創造的心情の関係の分析と検討。

(4) 教師の感性……教師自身の感性をみがくことについての研修。

豊かな思いをつくり、創造的心情を育成するためには以下のような授業づくりが大切であると考えます。

○心の柔軟性を養い、驚きを大切にし、問いを持ち続けさせる授業。

○冒険心をかき立て、多様な試みが保障され、心から活動への没頭による充足感の味わえる授業。

○あたたかな支持的集団による、自由にのびのびとした、失敗しても安心感のある授業。

○内的動機に支えられて、よりよいものやより美しいものを求めて追求する習慣や態度を大切にできる授業。

参考引用文献

- 1) 文部省「小学校 図画工作科指導資料」 開隆堂出版
- 2) 前田 博 「創造性を育てる教育」 明治図書